

石川工業高等専門学校教員が携わる校務内容の概略

高専教育は、中学卒業後の学生を受け入れ、5年間、または7年間の専門的な教育を通じて、国際的に通用する実践的な技術者を養成します。アクティブラーニングや先端的なグローバル化を醸成する取り組み、スケールメリットを活かした研究活動により、地域・世界の複雑な課題に挑戦できる深い科学的思考を持つ人材を育成しています。広範な教育内容と多様な学生層の中で、教員は独創的で創造的な教育・研究活動を展開でき、技術や知識の最前線での活躍が期待されます。高専教育に情熱を持ち、未来の技術者を共に育てるための職務・職責についてご紹介します。

(1) 授業

本科での講義、実験・実習、専門学科では卒業研究に加え、専攻科での講義や実験・実習、特別研究も担当します。定期試験は年4回実施し、成績不振の学生には特別指導を行います。実験・実習科目では、実験指導やレポート添削が重要な役割を担います。また、教員同士の授業観察や学生による授業評価などを通して、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。このような活動を通じて、教育の質を向上させるとともに、学生の学びをサポートしています。

(2) 卒業研究・特別研究指導

専門学科において卒業研究は、本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ちます。教員一人あたり2～5名の学生を指導します。また、教員一人あたり1～3名の専攻科学生を担当し特別研究指導を行います。

(3) 研究

教育面や学校運営への参画に加えて、研究面での業績も求められます。研究への意欲と成果が学校全体の教育・研究面を活性化させ、地域社会への貢献につながることを期待されています。研究資金は校内予算だけでなく、外部の競争的資金も積極的に活用されており、全教員に科研費申請が求められています。研究の最前線で活躍し、社会に貢献する成果を生み出す機会が広がっています。

(4) 学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般をサポートします。

各種学校行事での指導や個別面談、保護者との懇談も重要な役割です。また、校外実習や学外研修の引率指導、就職や進学に向けた進路指導を通じて、学生の成長を支援します。これらの活動は、学生一人ひとりの学びとキャリアに大きな影響を与える重要な職務です。

(5) 各種委員会・会議

定期的に学科会議や教員会議が開催され、学校運営に対する意見交換や情報共有が行われています。また、教務委員会、学生支援委員会、寮務委員会をはじめとする様々な委員会があり、副校長やセンター長のもとで、各委員会メンバーが中心となって校務を分担し運営しています。これらの活動を通じて、教育や研究環境の向上に貢献できる機会が広がります。

(6) 課外活動(クラブ)顧問

課外活動(クラブ)顧問として、文化部、運動部の課外活動を指導します。文化部の場合は各種高専コンテストの指導、引率など、運動部の場合は高専体育大会(地区大会・全国大会)の運営や、各種大会、練習試合の引率、合宿時の指導なども担当します。活動が休日に行われる場合は、振替休日の取得や手当の支給が行われるため、ワークライフバランスを保ちながら、学生と共に成長できる貴重な機会となります。

(7) 学生寮の宿直

学生寮は教育寮として位置づけられ、教職員が主体的に運営・指導を行っています。前期・後期の学期の間は全教員に学生寮の宿直が割り当てられます。宿直を担当した場合には手当が支給され、教員としての役割を果たすとともに、学生との密接な関わりを持つ貴重な機会になります。

(8) 社会貢献

高専では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座などを通じて地域との連携活動を積極的に展開しています。地域社会からの多様な課題を解決する活動を教育と連動させ、社会のニーズに対応する人間教育を行っています。学生たちは実社会での活動の中で自らのキャリアの方向性を定めるきっかけとなり、教員はこれらの活動を通じて、社会とのつながりを深め、教育・研究の幅を広げることができます。